

工事名称 平成30年度 和具配水池高圧引込設備更新工事

特記仕様書

1. 工事概要

- 1.工事場所 三重県 志摩市 志摩町 和具 地内

- ## 2. 建物概要

建物名称	構造及び階数	国:延面積	建:延面積	消防令の適用	備 考
管理棟	RC造 地上1階	440㎡	440㎡	別表第一(15)項	

国: 国有財産法延面積 (㎡) 建: 建築基準法延面積 (㎡)

3. 工事種目 (印の付いたものが対象工事種目)

工事種目	工事種別			
	管理棟	本館	展示棟	屋外・その他
・電灯設備				
・動力設備				
・電気自動車用充電設備				
・電熱設備				
・雷保護設備				
・受変電設備	○			○
・電力貯蔵設備				
・発電設備				
・構内情報通信網設備				
・構内交換設備				
・情報表示設備				
・映像・音響設備				
・拡声設備				
・誘導支援設備				
・テレビ共同受信設備				
・監視カメラ設備				
・駐車場管制設備				
・防犯・入退室管理設備				
・火災報知設備				
・中央監視制御設備				
・構内配電線路	○			○
・構内通信線路				
・テレビ電波障害防除設備				
・建築工事				
・機械設備工事				

4. 指定部分 ・ 無 ・ 有 対象部分

・工事仕様

- ## 1. 共通仕様

- (1) 図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の下記仕様書等のうち、印が付いたものによる。
- 公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）（平成28年版）（以下「標準仕様書」という。）
 - 公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）（平成28年版）（以下「改修標準仕様書」という。）
 - 公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）（平成28年版）（以下「標準図」という。）

- (2) 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの特記仕様書を適用する。

2. 特記仕様

- (1)項目は、番号に 印の付いたものを適用する。

- (2) 特記事項のうち選択する事項は、 印の付いたものを適用する。

- (3) 東海地震にかかる地震防災対策強化地域における工事については「大規模地震対策特別措置法」による注意情報が発せられた場合、受注者は人身の保護及び安全な避難に必要な補強、落下防止等の安全措置を講ずるとともに、工事中断の措置をとること。又この事実が発生した場合は、契約書第 26 条（臨機の措置）によって処理されるものとする。

	項 目	特 記 事 項
1 一 般 事 項	① 環境への配慮	<p>1) 「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（平成28年2月閣議決定）」による特定調達品目の場合は、判断の基準等を満たすものとする。</p> <p>2) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の ① から ③ を満たすものとする。</p> <p>① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ウリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。</p> <p>接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。</p> <p>接着剤は、可塑性（フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑性を除く）が添加されていない材料を使用する。</p> <p>② ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないが、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。</p> <p>③ 設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の ①又は ②に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の ①又は ②に該当する材料を指す。</p> <p>建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料</p> <p>建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料</p> <p>建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料</p> <p>建築基準法施行令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料</p>
	② 材料・機材の品質等	<p>1) 本工事に使用する機材等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。</p> <p>2) 次の ①から ③すべての事項を満たすものとし、④の証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督職員の承認を受ける。</p> <p>① 品質及び性能に関する試験データを整備していること。</p> <p>② 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。</p> <p>③ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。</p> <p>④ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。</p> <p>販売、保守等の営業体制を整えていること。</p>

1
一
般
事
項

3 足場その他

4 施工図等

5 電源周波数

6 耐震措置

7 他工事又は他工程との取合い

8 発生材の処理等について

9 特定建設資材の再資源化等

・ 別契約の関係受注者(下請け工事の場合は元請け)が定置したものは無償で使用できる。
・ 本工事で設置する。
「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。改修標準仕様書第1編第2章2.2より足場の種別は以下による。
・ 内部足場 (・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 種)
・ 外部足場 (・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 種)

工事が完成(指定部分に係わる完成を除く)したときは、本工事で作成する施工図等のうち、下記の原因及び複写図(1部)を監督職員に提出する。ただし、製作図等で原因として提出ができないものは、原因に代わるものとしてよい。
なお、施工図等の著作権に係る該当建築物に限る使用権は、発注者に移譲する。
機器製作図 一式、 制御システム図 一式
試験成績書 一式、 機器・配管固定の施工図 一式

60 Hz ・ 50 Hz

設備機器の固定は、次に示す事項を除き、すべて「建築設備耐震設計・施工指針 2014年版」(独立行政法人建築研究所監修)による。
1) 設計用水平地震力
機器の重量 [KN] に、設計用標準水平震度を乗じたものとする。
なお、特記なき場合、設計用標準水平震度は、次による。
設計用標準水平震度

設置場所	機器種別	・ 特定の施設		・ 一般の施設	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階 屋上及び塔屋	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
	水 槽 類	2.0	1.5	1.5	1.0
中間階	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水 槽 類	1.5	1.0	1.0	0.6
地下・1階	機 器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水 槽 類	1.5	1.0	1.0	0.6

・ 上層階とは2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階とする。
・ 中間階とは地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの
・ 重要機器は次のものを示す。
・ 配電盤 ・ 自家発電装置 ・ 直流電源装置
・ 交流無停電電源装置 ・ 交換装置 ・ 自動火災報知受信機
・ 中央監視制御装置 ・ 総合盤 ・ 放送装置
・
・
2) 設計用鉛直地震力
設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。

図面に特記無き場合は、次表の「工事区分表」による。
「工事区分表」

他工事又は他工程との取合い		電気設備工事			
間	梁・床・壁貫通部	補強			
		スリーブ・仮枠			
口	埋込分電盤・端子箱・プルボックス	補強			
		仮枠			
部	軽量鉄骨下地天井・壁ボード類の切込	補強有りの場合(補強共)			
		補強無しの場合			
基礎等	反圧デッキプレート	切込			
	既設機仕切壁の位置ボックス及びその取付				
基礎等	屋上設置の設備機器の基礎				
	大型設備機器の基礎				
	防水層に影響する基礎				
	上記以外の機器の基礎				
	架台、アンカーボルト				
	配線ビッド及び重				
	自立脚架設置を取付ける防火戸の切込・補強及び 防火戸・防火シ				
	取組器具・幹線等の取付口用のインサート				
	防凍措置などへの接続(直接接続するもの)				
	機器行儀制御盤への配管配線(接地共)				
機器行儀制御盤への電源供給の配管配線(接地共)					
機器行儀制御盤への操作回路の配管配線					
天井吊型 FCU 及び全熱交換形換気扇と操作スイッチとの配管配線					
傳感器から運動制御盤を経て防塵ダンパに至る配管配線					
小使器具用装置の制御盤への配管配線					
自動駆力及び電動ジャックなどの制御装置に至る配管配線					
防虫堤					
天井吊開口					
エレベータ制御盤までの動力・照明用電源、接地線、防災信号及び					
伝音設備(管内伝送用)の配管配線工事					
エレベータ制御盤からエレベータ制御盤又は機器室までの配管配線工事					
エレベータ保守連絡監視用(電話回線)配管工事					
エレベータ緊急地震速報受信用配管工事					
エレベータ制御盤から外部インターホンまでの配管配線工事					
エレベータ制御盤からエレベータ内監視カメラまでの配管配線工事					

引渡しを要するもの以外は、構外搬出適切処理とし、搬出処理費は別途とする。
・ 引渡を要するもの (・ 金属類 ・ 電線、ケーブル類 ・ 盤類)
・ 特定管理産業廃棄物 (・ P3使用機器 ・ 一体化式感知器 ・ 蓄電池)
・ 再生資源化を図るもの (・ 蛍光灯・LED ・ 白熱灯、HID灯)
・ 石綿含有品 (・ ・ ・)

本工事は「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」第9条による分別解体等実施義務の対象建設工事となることが想定されるため、同法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適正な措置を講ずる。ただし、工事契約後に明らかになったやむを得ない事情により、工事契約時に予定した条件により難しい場合は、監督職員と協議する。また、分別解体・再資源化の完了時に、再資源化等が完了した年月日、再資源化等をした施設の名称及び所在地、再資源化等に要した費用を書面にて監督職員に報告する。
分別解体の方法

工 程	作業内容	分別解体の方法
・ 新築	建築設備工事	
・ 増築	・ 有	・ 手作業
・ 修繕	・ 無	・ 手作業、機械作業併用
・ 模様替		

特定建設資材廃棄物の種類と再資源化等をする施設

特定建設資材廃棄物の種類	再資源化等をする施設名称	所 在 地
・ コンクリート		
・ コンクリート及び鉄からなる建設資材		
・ 木材		
・ 2x75x10、2x75x12		

届出に係る事項の説明時に上記と異なる施設(同種の再資源化等を行う施設に限る。)を受注者が提示した場合は、当該施設に搬出することができず。ただし、当該施設への変更については設計変更の対象としない。

1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1
1

電
力
・
受
変
電
・
発
電

2 照度測定

3 発電回路コンセント

4 電動機等の接地

5 分電盤等

6 O A 盤・端子盤

7 インバータ装置の
規約効率

8 低圧配電盤

9 設備機器容量等

4
通
信
・
情
報

1 局 線

2 電界強度の測定

3 ケーブル

5
改
修
一
般
事
項

① 施工調査

2 仮設備工事

3 養生

4 は つ り

5 非破壊検査

⑥ 既設との取合い

特 記 事 項

一般照明の照度測定を（ 箇所 ）測定し、監督職員に報告する。
なお、測定場所は、監督職員との協議とする。

発電回路に接続されるコンセントは、回路種別が識別できるものとする。
なお、特記なき場合、自家発電装置に接続する回路は原則として赤色コンセントとする。

金属管配線において、電動機容量 7.5kW 以下は金属管を接地線とする。

本工事の分電盤・O A 盤・実験盤で、分岐に用いる配線用遮断器の寸法と定格は、JIS C 8201-2-1：附属書JC(参考)「電灯分電盤用協約形回路遮断器」によるものとし、特記なき場合、JIS協約形の1Pサイズ(100V2P1E、200V2P2E)とする。
また、漏電遮断器の寸法と定格は、JIS C 8201-2-2：附属書JC(参考)「電灯分電盤用協約形回路遮断器」によるものとし、特記なき場合、JIS協約形の1Pサイズ(100V2P2E)とする。

O A 盤の端子盤部及び端子盤には、換気口を設けるものとする。

三相可変速運転用インバータ装置の規約効率は、次の数値以上とする。

電動機出力(kW)	0.4	0.75	1.5	2.2	3.7	5.5	7.5
規約効率(%)	86.0	88.5	92.0	93.0	94.0	94.0	94.5

電動機出力(kW)	11	15	18.5	22	30	37	45
規約効率(%)	94.5	95.0	95.5	95.5	95.5	95.5	95.5

低圧配電盤に用いる配線用遮断器は埋込形とし、全て警報接点付きとする。

本工事及び別契約の関連工事に於いて設備機器容量等が相違する場合は、関連する設備の施工及び機器製作前に監督職員と協議し、指示を受けること。

局線の新增設移転の手続きは、本工事とする。

最上階フロアのコンクリート打設前に、受信電界の電界強度測定を 3 か所以上行うこと。
また、その報告書を監督職員まで提出すること。

EM-UTPケーブルは、使用用途が判別できるようにシース色等を変えること。

事前調査 (・ 本工事 ・ 別途)
調査項目 (・ 既存資料調査 ・ 既存配線・ト ・)
調査範囲 (・ 図示 ・ 工事範囲 ・)
調査方法 (・ 図示 ・ 目視 ・)

仮電源 ・ 受変電設備 ・ 発電設備
仮設備期間 ・ ケ月 ・ 図示による

既存部分の養生は、改修標準仕様書第 1 編第 1 章による。
養生範囲 (・ ・) 養生方法 (・ ・)

はつり工事は、事前に直走式埋設物調査を行い、監督職員に報告を行うこと。
既存コンクリート床、壁等の配管貫通部の穴開けは、図面に特記なき場合はダイヤモンドカッターによる。

非破壊検査による埋設物の調査 (・ 要 ・ 不要)
なお、範囲及び検査方法は監督職員と協議するものとし、費用は別途とする。

本工事施工に伴う既設設備の軽微な加工改造は、本工事とする。

(E-00/00)

H 3 0 和具配水池高圧引込設備更新工事

00 ・ 00

電気設備工事 特記仕様書

0 0

三重県 志摩市